

ウェビナー・ライブ配信

研究者のための+αシリーズ

Seminar/Workshop Series  
for Researcher Professional Development

Vol. 17 | 2022年11月22日(火)  
16:30~18:00



Challenge Interdisciplinary Research Abroad  
at the Postdoc Stage

～ポストドク時代に海外で新たな研究分野に挑戦する～

ポストドク時代に海外で新たな研究分野に挑戦する。このダイナミックなギアチェンジを応援してくれる国際フェローシップがあるのをご存知ですか？今回は、そのような海外での挑戦的研究を後押しするヒューマン・フロンティア・サイエンス・プログラム (HFSP) Postdoctoral Fellowships (注) を特集します。本フェローシップは、ポストドクのアイデア勝負。海外においては受賞の意味合いが濃く、採択者は非常に高く評価されるため、その後のキャリア形成にも大きく影響します。採択されると運命が変わるでしょう。

では、審査員はいったいどのような視点でポストドクのアイデアを採点するのでしょうか。本ウェビナーでは、審査員経験のある講師をお招きし、審査で重要となるポイントをお話いただくとともに、HFSP 事業への国内支援業務を担当しているAMEDから、フェローシップ申請についての詳細をご紹介します。

(注) HFSP Postdoctoral Fellowships には、①長期フェローシップ Long-Term Fellowships (LTF: 生命科学分野で博士号を取得し、海外の優れた研究室で、博士課程とは異なる研究領域を対象とした幅広い経験を積みたいと考えている研究者を支援する長期フェローシップ) と、②学際的フェローシップ Cross-Disciplinary Fellowships (CDF: 生命科学分野で研究を行うことを希望する、ライフサイエンス以外の分野の研究者 (博士号保持) を支援する学際的フェローシップ) があります。  
参照: <https://www.amed.go.jp/program/list/20/01/008.html>

講師



土松 隆志 先生

東京大学大学院理学系研究科生物科学専攻  
准教授

東京大学 大学院総合文化研究科広域システム科学系 博士課程修了 (博士 (学術))。2010年チューリッヒ大学、2012年オーストリア科学アカデミー グレゴール・メンデル研究所、2016年千葉大学准教授等を経て 2020年より現職。2020年若手科学者賞 文部科学大臣表彰。2019年より HFSP long-term fellowship reviewing committee member。



酒井 朋子 先生

AMED 国際戦略推進部 主査

京都大学理学研究科博士後期課程修了 (博士 (理学))。2012年京都大学霊長類研究所研究員。2014年慶應義塾大学医学部特任助教。2016年 Johns Hopkins Medicine 海外特別研究員、Postdoctoral Fellow。2019年放射線医学総合研究所研究員。2021年より慶應義塾大学医学部助教及び現職。AMED では HFSP の国内支援活動に従事。

トピックス

- ・「世界は次世代の研究者に何をももっているのか」  
……………土松先生
- ・「HFSP を通じた国際・学際研究の創造」  
……………酒井先生
- ・ご参加の皆様とライブで Q&A

対象

- ・海外研究留学または海外でのポスト獲得を目指す若手研究者 (大学院生も含む)
- ・優秀な若手研究者を海外から受け入れたい指導者、メンターとなるシニア研究者

お申し込み



左の QR コードまたは下記 URL にアクセスして下さい。申し込みフォームでは 11月14日 (月) まで講師への事前質問を受け付けています。  
[https://form.jst.go.jp/enquetes/2022\\_rpd17](https://form.jst.go.jp/enquetes/2022_rpd17)

Zoom 情報等については、11月21日 (月) にご案内いたします。  
お問合せ先: [sekai-info@jst.go.jp](mailto:sekai-info@jst.go.jp)

主催:  国立研究開発法人  
科学技術振興機構  
JST 科学技術イノベーション人材育成部

共催:  国立研究開発法人 日本医療研究開発機構  
Japan Agency for Medical Research and Development  
AMED 国際戦略推進部



締切  
11月21日  
(月)  
正午

参加費  
無料